

## 第2回 学校評価アンケートの報告と今後の取り組みについて

春暖の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

2学期末の「学校自己評価アンケート」にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。皆様からいただきましたアンケートと児童、職員アンケートについて、下記のように第2回学校評議員会・コミュニティスクール（CS）運営委員会に提出し、協議していただきましたので、お知らせいたします。

「アンケート」の結果については、裏面をご覧ください。お寄せいただきましたご意見等につきましては、職員会議において全職員で読ませていただきました。子どもの健全な育成のために努力して参りますので、今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 記

#### I 第2回学校評議員会・コミュニティスクール（CS）運営委員会から

- 1 期 日 令和2年2月3日（月）
- 2 参加者 学校評議員、コミュニティスクール運営委員、PTA正副会長、学校長、教頭、教務主任
- 3 資 料 「第2回学校評価アンケート」の結果と考察
- 4 当日出された主な質問・意見と回答

ご意見	<p>&lt;「つむぐ」について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つむぐ」については子ども達、保護者にとってさらに有効に活用できるよう研究していくことが大事である。</li> <li>・感想や日記など親が見るため、子どもが本当のことを書けない。</li> <li>・先生たちはいつ目を通してしているのか。そのための時間の確保が必要である。子どもが書く時間もある必要である。</li> <li>・自主学習の欄があるが、自主的に任せるとなかなか難しい。授業と結びつけて、ヒントやきっかけがあれば自主的にできるのではないか。</li> <li>・「つむぐ」を書くことが子どもにとってプラスになっているかが大事である。</li> <li>・授業のこと、友だちのこと、家庭のこと、書きかたの例がないと子どもたちは書けないのではないか。子どもも先生も書きやすい、見やすいようにした方が良い。</li> <li>・「つむぐ」を書くことで、子どもにプラスになった事例（友だちが増えたなど）を、子どもたちにも示してあげると良い。</li> </ul>
回 答	<p>・「つむぐ」は昨年度から上田市の全学校に配布され、活用が始まった。第1回学校評価アンケートにおいて「つむぐ」を活用できていると回答した割合は、児童が約5割、保護者が約4割、教職員が約3割という結果だった。</p> <p>そこで、11月の学級懇談会で「つむぐ」の活用について取り上げていただき、各学年のご意見を集約した。</p> <p>その結果、低学年では持ち物の確認などにうまく利用しているなど肯定的意見がある一方、高学年では上手く利用できていないという意見が目立ち、中でも子どもは日記を親に見られたくないという思いがあり、親も見たいかどうか迷っているという思いがあることがわかった。また全学年を通して、親が記入する負担や書く項目の見直しについての意見も寄せられた。</p> <p>今年度も家庭学習の振り返りをする「まるっこ学習週間」で、「つむぐ」の活用も大切に取り組んでいる。項目や使い方など、上田市全体で試行錯誤しながらより良いものにしていく予定である。中央小でも委員会での意見を参考に、より有効な利用の仕方を探っていきたいと考えている。</p>

## II 来年度に向けての取り組み

今回の委員会での話し合いの内容を踏まえて、来年度は以下の点を重点に取り組んで参ります。

### 1 「子どもたちが主体的に取り組み、学びを深めていく授業」をめざします

子どもが主体的に自分の考えを伝え合いながら、友と学ぶことの楽しさを味わえる授業づくりに取り組みます

- ・主体的で対話のある授業をめざした授業改善を進めます。児童が自ら動く、考える、語り合う授業を構築していきます。信州型ユニバーサルデザインの研究と実践を進めます。
- ・探求的な学びの一環として、異学年や他校との交流、地域への発信など誰かを笑顔にする「まるっこ笑顔プロジェクト」に取り組みます。
- ・「静かに最後まで聞く」「わかりやすく話す」など規律を大切にしていきます。
- ・ICTを活用して、分かりやすい魅力ある授業づくりを進めます。
- ・読み上げドリルや高学年補充学習など学力定着学習の時間を大切にしていきます。
- ・「家庭学習の手引き」の工夫と活用、「つむぐ」の有効な活用を通して、家庭とともに学習習慣を身に付けるよう努めていきます。
- ・学習支援ボランティアを募り、子どもの「できるようになりたい」という気持ちに応えます。

### 2 お互いが相手を思いやる優しい心を育みます

だれもが違った思いや考えがあることを知るとともに、自己肯定感を高め、自分の思いや考えと違うひと・こと・ものを認められる心を育てます

- ・より高い人権感覚を育むために大人が見本となって行動します。
- ・PTA、地域と協力して子どもが認められる機会を大切にしていきます。
- ・自分のよさ、友のよさに気付き、認め合える学級づくりを進めます。ルールやマナーを守ることのよさ、認められることのよさを感じ得ることができる学校生活をつくっていきます。
- ・多様性に気付き認め合う道徳の授業を実践し、いじめや差別を許さない高い人権感覚を育成していきます。
- ・歌や音楽を響かせ合うことを通し、友と心を通わせるよさを感じ得るようにしていきます。
- ・児童会活動、丸子地域青少年ネットワーク会議とともに、学校、地域で会った人には誰にでも心をこめて挨拶できるよう取り組みます。
- ・一人ひとりの特性に配慮したチーム支援、環境づくりを行っていきます。

### 3 強い意志を育み、体力向上を進めます

目標の実現に向かってひたむきにがんばれる強い心と体を育みます

- ・「つむぐ」を活用し、規則正しく健康的な家庭生活（食事と睡眠、家庭学習、ゲームやメディアとのつきあい方）について、PTAとともに考え実践していきます。
- ・全校、学年、学級で決まったことを皆で守ったり、全ての委員会の活動に協力し参加したりすることを通して、皆で力を合わせて活動をつくりあげることのよさを感じられるようにしていきます。
- ・一人ひとりが気持ちよく生活するために、自らを振り返る機会を大切にします。
- ・わくわくマラソン（朝マラソン）に継続して取り組み、継続的に取り組める他の運動も取り入れながら体力の向上を図ります。

**\* 集計結果の詳細につきましては、丸子中央小学校ホームページ→学校評価に掲載しております。**

**必要な方は、資料を配付いたしますので、学校までお申し出ください。**

上田市立丸子中央小学校 教頭 宮澤 雅法 教務主任 池田 明朗 TEL：42－2112
--